

## 新入会員自己紹介

長谷川明弘

この春から金沢工業大学にて仕事をしています。長谷川明弘と申します。天気の良い日は自転車で 20 分ほどかけて通勤しています。自転車で風を感じながら、少し寄り道したり、遠回りしたりして、体力維持(体重維持??)できるのが魅力です(これで冬を越して継続できるかが課題)。生まれは愛知(江南)、大学卒業後から新潟(新潟、長岡)、東京(世田谷)、そして石川(金沢)と進学や就職の度に引っ越してきました。住居だけでなく、これまであちこちの領域(医療、産業、教育など)を渡り歩いてきました。

EAP(Employee Assistance Program:従業員支援プログラム)という産業臨床領域で面接やコンサルテーション、電話相談をしたり、相談窓口を紹介したり、精神科(といっても認知症高齢者が専門)の病院と老人保健施設で高齢者とその家族の面接をしたり、心療内科で心身症としての斜頸や書痙、心因性リウマチ、解離症状や自律神経失調症、過食嘔吐を持った人への支援、またまた自閉症や多動傾向といった特徴を持った子どもが通っている学童保育に出向いて巡回相談をしたり、さまざまな障害を持った子どもについての療育相談、さらに児童相談所の一時保護所に保護された子どもと寝食を共にすることにも携わってきました。これらには主としてブリーフセラピー、家族療法、臨床動作法、そして催眠法を活用しながら臨床活動をして参りました。これからはそれぞれの領域の臨床活動を少しでも深めるだけでなく、あちこちで経験した臨床活動を自分の中で系統立てて整理することが課題です。また、ここ数年は臨床活動の報告だけでなく、高齢者の生きがいについて調査研究をしています。石川県内でも臨床心理士の在職数が多い職場でいろいろなことを吸収しながら、職場の内外で自分も生かせる環境や機会を拓けられるように仕事をしていきます。最後に、研修会などでお目にかかったときには、寄り道できる場所をお教え願いたいです。これからもよろしくお願ひします。

Newsletter 19 号

石川県臨床心理士会

2004.2.1 発行